

経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給方法の提供

タイトル アグリシードファンドを活用した資本提供の取組

JA名 つやま（岡山県）

1 動機 （経緯）	当JA管内の中山間地域において、農業者の高齢化および後継者不足による農地荒廃の懸念が高まっています。そのような状況を受けて、地域の担い手となっている農業生産法人の一部では、農地の保全管理や次世代後継者の育成等に取組んでいます。当JAでは、そのような取組みに対する支援強化が必要と判断しています。
2 概要	当JAでは、農地の保全管理を行い、持続・発展可能な営農活動に取組む農業生産法人に対して、法人の成長段階に応じた支援を行っています。将来の農業の担い手として期待される農業法人の事業力強化に向けて、融資だけではなく、JAグループのアグリシードファンドを活用した資本提供の紹介に取組んでいます。
3 成果 （効果）	平成 26 年 10 月に当JAを紹介窓口として、管内の稲作農業生産法人にアグリシードファンドをご活用頂きました。当法人では組合員が一体となって連作障害対策を行う等、農地の保全管理に力を入れて取組んでおり、出資を通じて当該取組みの支援を行いました。
4 今後の予定 （課題）	今後も、地域の担い手となる農業者に対して幅広い支援を行っていきます。